

シーシーアイグループ

関市・カーケミカル、カーケア用品、産業タイヤ等の開発・製造・販売
従業員数 / 男性252名 女性79名 計331名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①テレワークやサテライトオフィスなど場所にとられない働き方の導入
- ②スーパーフレックス制でより柔軟な働き方が可能
- ③充実した研修内容で社員のスキルアップを支援



技術職の村上さん(右)は2児の母親。スーパーフレックス制度を活用して勤務時間を調整することで、フルタイム勤務と子育てを両立している。

柔軟な就労制度と環境整備で働きやすさを生み出す

シーシーアイグループでは、ライフスタイルに合わせた就労制度の確立と業務の効率化を重ね、働きやすさの創出に力を入れている。

2004年には他社に先駆けて、コアタイムを定めないスーパーフレックス制度を導入した。特別な理由がなくても事前申請すれば利用可能で、子育て世代の社員を中心に

に広く活用されている。社長室の西村さんは「通院や学校行事の際の利用など、社員にとって当たり前のように浸透している制度。ワーク・ライフ・バランスの充実につながっている」と微笑む。

また「男性の育休取得率20%」を目標に制度の周知に取り組み、0%だった取得率は5年間で75%まで上昇した。女性だけでなく男性社員にも子育てで参画の意識が広がっている。

こうした柔軟な働き方を可能にした秘訣は、徹底した業務の効率化だ。手入力で行っていた受発注業務のRPA化で、年間に換算すると3175時間分の事務作業を削減。ジョブローテーションにより業務を標準化し、いつ・誰が休みを取っても全体でフォローできる体制を整えた。また現在推進しているテレワーク制度の足掛かりとして、20年に岐



サテライトオフィスは開放的なカフェのような雰囲気。個人デスクはなく、社員は用途に合わせてソファやカウンター、向かい合わせのテーブル等で作業を行う。

阜駅近郊にサテライトオフィスを新設。社員であれば自由に入出入りができ、岐阜市内在住者の通勤時間短縮や名古屋経由で全国出張する際の拠点確保に役立っている。

岡部鉄也社長は「今後は社屋の立地や労働時間帯に囚われず、制度を活用して多様な人材が集まってもらえたら」と語った。